

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

平成29年3月17日

計画の名称	27. 交通安全・交通環境の向上				重点配分対象の該当			
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）		交付対象	福岡県				
計画の目標								

道路交通環境を整備することで、福岡県内の道路における死傷事故率が削減され、安全・安心な道路交通環境を実現する。特に、小学校等に通うための多くの児童が利用する通学路について、安全・安心な歩行空間を確保する。

計画の成果目標（定量的指標）

通学路における歩道整備率を68.8%（H24末）から70.1%（H29末）に向上させる。

定量的指標の定義及び算定式

$$\text{通学路の歩道整備率（\%）} = \frac{\text{歩道の整備済延長}}{\text{通学路延長}}$$

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 中間目標値 最終目標値

(H24末) (H29末)

68.80% 70.10%

備考

・九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョン：A4-28.29.31.32
 ・久留米広域連携中核都市圏ビジョン：A4-9.10.11.12.13.14.15.16.19.21.76.79.104.116.117.118
 ・八女市定住自立圏共生ビジョン：A4-45.47.102.106
 ・第2次有明圏域定住自立圏共生ビジョン：A4-17.18.20.22.77.78.112

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	28,321百万円	A	27,191百万円	B	778百万円	C	352百万円	D	0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	1.2%
-------	--------------	-----------	---	-----------	---	--------	---	--------	---	---	------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課にて目標の達成状況や事業効果の検証を行い、評価を実施した。	計画期間終了後 公表の方法 ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益費	個別施設計画策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29				
A4-1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)福岡直方線・久原工区	自歩道設置 L=1.46km	久山町						570		—	
A4-2	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(一)町川原赤間線・古賀市1工区	自歩道設置 L=0.240km	古賀市						30		—	
A4-3	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(一)猪野篠栗線・久山町工区	簡易整備 L=0.400km	久山町						20		—	
A4-4	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)福岡直方線・久原2工区	歩道設置 L=0.400km	久山町						30		—	
A4-5	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)福岡志摩線・志摩初工区	交差点改良 N=1箇所	糸島市						716		—	
A4-6	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)福岡志摩前原線・志摩芥屋工区	自歩道設置 L=0.48km	糸島市						100		—	
A4-7	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(一)津和崎潤線・新田工区	自歩道設置 L=1.05km	糸島市						230		—	
A4-8	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	交安	(国)500号・太刀洗町工区	交差点改良 N=1箇所	太刀洗町						8		—	
A4-9	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)佐賀八女線・玉満工区	交差点改良 N=1箇所	久留米市						670		—	
A4-10	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)鳥栖朝倉線・二森工区	自歩道設置 L=0.190km	小郡市						55		—	
A4-11	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	交安	(国)322号・諏訪野町工区	歩道設置 L=0.250km	久留米市						427		—	
A4-12	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(一)宮本大川線・江上1工区	歩道設置 L=0.900km	久留米市						19		—	
A4-13	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)浮羽草野久留米線・竹野工区	歩道設置 L=0.300km	久留米市						365		—	
A4-14	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(一)善導寺停車場耳納線・山本町工区	自歩道設置 L=0.360km	久留米市						235		—	
A4-15	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)久留米柳川線・大善寺工区	自歩道設置 L=0.06km	久留米市						237		—	
A4-16	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(一)吉井恵蘇宿線・新治工区	歩道設置 L=0.027km	うきは市						76		—	
A4-17	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)大牟田高田線・宮崎工区	交差点改良 N=1箇所	大牟田市						32		—	
A4-18	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)大牟田植木線・新勝立町工区	自歩道設置 L=0.30km	大牟田市						700		—	
A4-19	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)久留米柳川線・八町牟田工区	交差点改良 N=1箇所	大木町						20		—	
A4-20	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(一)富久瀬高線・本郷工区	自歩道設置 L=0.280km	みやま市						410		—	
A4-21	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)久留米柳川線・大角工区	交差点改良 N=1箇所	大木町						600		—	
A4-22	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	交安	(国)443号・北の関工区	歩道設置 L=0.500km	みやま市						100		—	
A4-23	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)福岡直方線・福丸工区	自歩道設置 L=0.300km	宮若市						60		—	
A4-24	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)宮田小竹線・新田工区	歩道設置 L=0.950km	小竹町						12		—	
A4-25	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)直方宗像線・新延工区	歩道設置 L=0.310km	鞍手町						200		—	
A4-26	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(主)宮田遠賀線・室木工区	歩道設置 L=0.170km	鞍手町						30		—	
A4-27	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	県道	交安	(一)新延植木線・中山工区	自歩道設置 L=0.400km	鞍手町						130		—	

C 効果促進事業																	
C4 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
C4-1	計画・調査	一般	福岡県	直接	福岡県	計画・調査	交通事故対策計画策定	交通事故データベース作成及び計画策定	エリア内一円						200		
C4-2	計画・調査	一般	福岡県	直接	福岡県	その他	道路交通騒音調査	自動車交通騒音の調査	エリア内一円						15		
C4-3	啓発活動	一般	福岡県	直接	福岡県	その他	交通安全啓発活動	交通安全啓発活動	エリア内一円						16		
C4-4	啓発活動	一般	福岡県	直接	福岡県	その他	地域の交通安全活動・防犯活動の活性化	地域の交通安全・防犯活動の活性化	エリア内一円						71		
C4-5	無電柱化	一般	福岡県	直接	福岡県	無電柱化	(一) 甘木吉井線・吉井町2工区	電線類地中化 L=0.320km	うきは市						50		
										小計					352		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C4-1	交通事故データベースを作成し、地方道路整備による交通安全・交通環境の向上に向けた整備方針を決定する。																
C4-2	地方道路整備と一体となって、道路交通騒音調査を行うことにより、当計画の効率的・効果的な展開を図る。																
C4-3	地方道路整備と一体となって、交通安全の啓発を図ることにより、県全体としての交通事故を減少させ、地域の安全安心の確保が図られる。																
C4-4	地方道路整備と一体となって、県・市町村・警察と連携し、各地域での交通安全活動及び防犯活動の活性化を図る。																
C4-5	要請者負担方式による無電柱化の推進により、道路のバリアフリー化と防災対策が図られる。																

※全体事業費や事業実施期間は、計画期間内における数字であるため、必ずしもそれぞれの事業箇所全体の数字と一致しない。
また、予算確保の状況や用地買収の進捗などにより変更が生じるため、整備計画は随時見直しを行っている。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・道路交通環境を整備することで、福岡県内の道路における死傷事故率が削減され、安全・安心な道路交通環境が実現された。 ・小学校に通うための多くの児童が利用する通学路について、安全・安心な歩行空間を確保した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① (通学路の歩道整備率)	最終目標値	70.1%	目標値と実績値に差が出た要因	効果的・効率的な事業展開により、目標値を上回ることができた。
		最終実績値	71.3%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな社会資本総合整備計画「交通安全・交通環境の向上（防災・安全）」により、引き続き通学路の歩道整備率の向上を推進していく。 					

整備計画の全体事業費は、H30以降の残事業費も含む。
(次期計画において、継続的に事業を進める予定)